

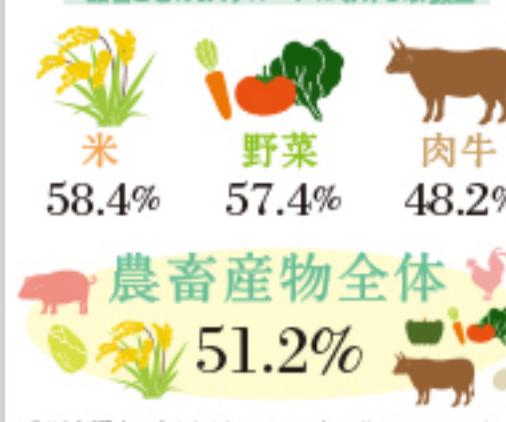
# JAグループは食卓をあずかる皆さまを支えています。



## 食品関連企業との連携

日本人の食生活は、家庭で調理する「内食」から、惣菜や弁当を購入する「中食」や「外食」へシフトしており、業務用加工野菜の需要が増加しています。JA全農では、食品企業との連携により、食生活の変化に対応した取り組みを進めています。

## 品目ごとのJAグループにおける取扱量



## 農畜産物の安定供給

米の流通量に占めるJAのシェアは約6割。野菜(販売額)も6割、肉牛(頭数)は5割、農畜産物全体(販売額)では5割をJAが取り扱っています。JAは、農畜産物の安定的な生産・供給を通じて、日本の豊かな食卓を支えています。

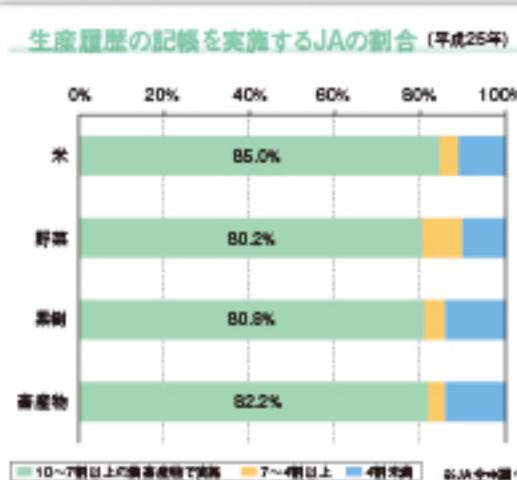


## 野菜の産地リレー

業務用加工野菜の需要増加により、食品関連事業者から年間を通じて安定的な野菜の供給が求められています。JAでは、周年での産地リレーを実現し、食品関連事業者に年間切れ目なく野菜を提供することにより、加工食品の食卓への安定供給を実現しています。



食の安全・安心を消費者に伝えるJAさがみ(神奈川県)のファーマーズマーケット



## 食の安全・安心

消費者の皆さまの安全・安心のニーズに応えるため、JAは、農畜産物の生産工程で、農薬などを適正に使用し、その記録をつける生産履歴記帳運動を展開。安全・安心な農畜産物を提供しています。

## JA開設のファーマーズマーケット数



## ファーマーズマーケット

JAのファーマーズマーケットは全国に約2,300店舗、売り上げは約2,700億円(平成24年度)と、近年急速に拡大しています。地域の皆さまに新鮮で安全な農畜産物を届けるとともに、農家の所得増大にも貢献しています。



## 食農教育

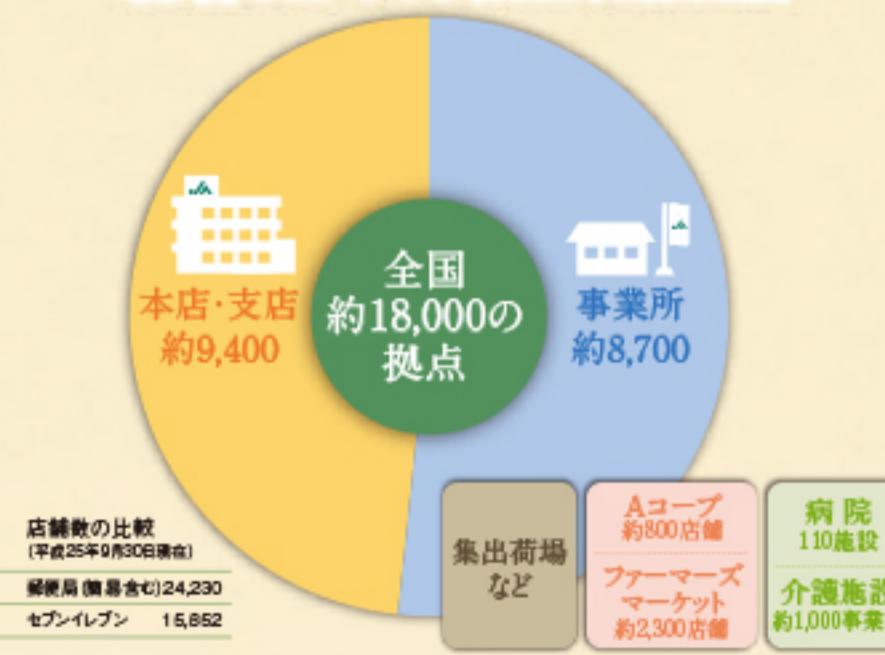
JAの食農教育では、子どもたちを中心に農作業や収穫した農産物を調理する体験を通じて、「食」と「農」のつながり、その大切さを伝えています。学校給食への食材提供では、地域固有の農業や食文化の理解を広めています。

## 農とくらしの助けあい



農業や地域社会のため、多様な事業に取り組んでいます  
地域の農業者のサポートをはじめ、貯金の受入や融資などの信用事業、万一に備える共済事業など、多様な事業を行っています。近年では、高齢者福祉や食農教育など、地域社会のつながりを高める活動にも力を入れています。

## 総合JA 703 (平成25年10月1日現在)



## 全国で地域社会の拠点となっています

全国約18,000の拠点を通じて、組合員・地域住民に多様なサービスを提供し、豊かな地域社会づくりに貢献しています。また、県段階・全国段階では、事業ごとの連合会によりJAの事業運営をサポートしています。

## 組合員



## 農を基軸として地域に根ざした協同組合です

JAは、地域に根ざして全ての人に開かれた組織です。出資金を払って組合員になっていただくことで、誰もがJAの事業を利用することができます。



大地がくれる絆を、もっと。 JAグループ

